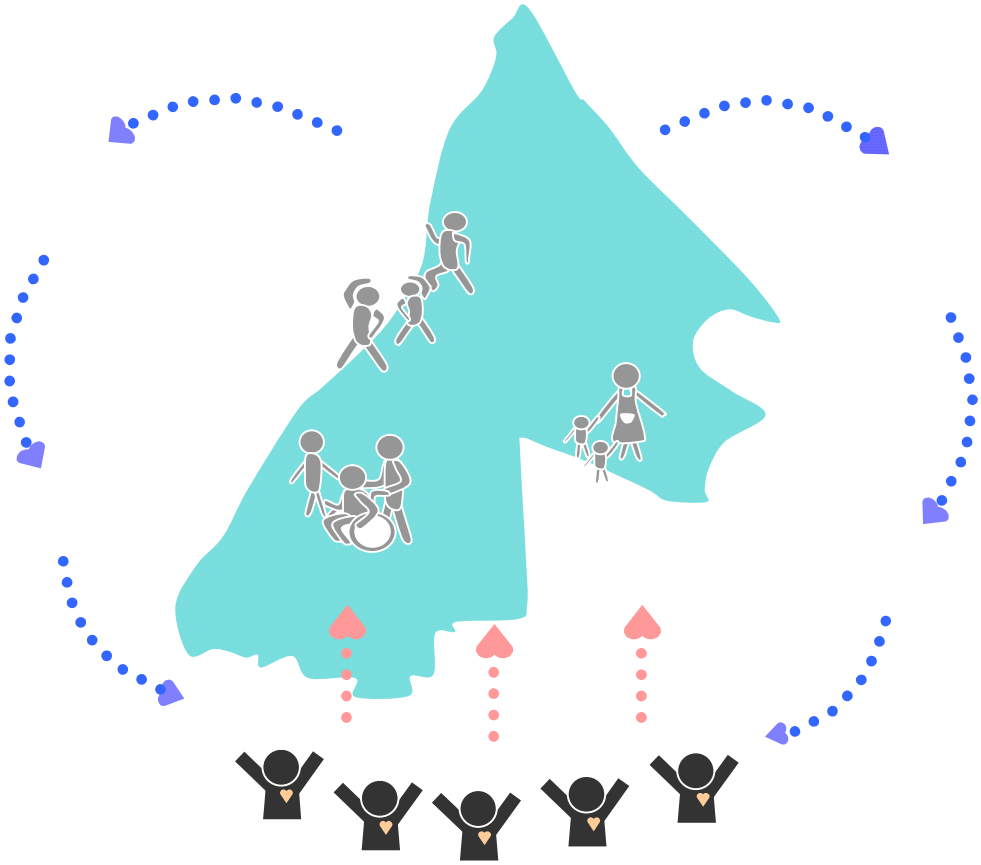
令和４年度　すみだの力応援助成事業

公開プレゼンテーション

プログラム



令和４年６月２５日（土）午後１時３０分～
墨田区役所１３階　１３１会議室
墨田区 地域力支援部 地域活動推進課

目　次

■ スケジュール ･･･ 2

■ プレゼンテーションの方法（ルール）･････････････････････････････ 2

■ 助成の決定 ･･･ 3

■ 本日の審査員 ･･･ 4

■ 令和４年度「すみだの力応援助成事業」申請団体の事業一覧･････････ 4

■ スケジュール

開始時間	団体名	事業名
13:30～	開会（挨拶・発表方法の説明）	
13:35～	すみだ新製品開発プロジェクト	災害時には地域支援ができる移動図書館リヤカー事業
13:55～	一般社団法人 SSK	すみだスーパーキッズキャンプ
14:15～	特定非営利活動法人すみだ多文化共生交流会	暮らしでつながる多文化交流
14:35	閉会	

※なお、各団体による発表の開始時間は、プログラム進行の都合上、前後する場合があります。
予めご了承ください。

■ プレゼンテーションの方法（ルール）

（１）発表を行う人数は、各団体３名以内とします。
（２）１団体の発表は 10 分以内とします。申請事業の内容を中心に発表してください。
（３）発表終了２分前には、ベルを１回鳴らします。また、発表終了１分前には、ベルを２回鳴らします。発表終了時間にはアラームを鳴らしますので、速やかに発表をまとめてください。
（４）発表終了後、墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会委員による質疑を 10 分程度行いますので、要点を簡潔にお答えください。
（５）自身の発表時間に関わらず、開会時間（午後１時 30 分）までに会場までお越しください。また、自身のプレゼンテーション順番時に不在の団体は、審査対象から除外します。
（６）傍聴者の発言など、審査に影響を及ぼす意思表示は認められません。

■　助成の決定

公開審査後、協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会において、審査会が下表の審査項目に基づき審査を行い、その審査結果をもとに区が助成の可否・助成額を決定します。なお、審査結果については、後日区のホームページ等で公開いたします。

	審 査 項 目	審 査 基 準
1	先駆性・創造性	地域や社会的課題に結びつく問題提起がある、ＳＤＧｓ（＊１）の視点が取り入れられているなど、先取的・独創的な取り組みであるかどうか。
2	発展性・継続性	将来に向けて、事業が持続し、新しい展開につながっていくか、事業の成果が広く地域に普及していくことが見込まれるかどうか。
3	ニーズの適合性	区民の多様なニーズ（需要・要望など）を捉え、それらに的確に対応した内容となっているかどうか。
4	事業の公益性	事業目的が明確であり、広く区民を対象とした事業であるなど、区民福祉の向上に高く貢献する取り組みであるかどうか。
5	実現可能性	事業の実施（責任）体制などの面で自立性を確保しているなど、事業計画・スケジュールに無理がなく、実行可能な取り組みであるかどうか。
6	経費の妥当性	自らの資金確保が明確に考えられているなど、資金計画が妥当であるかどうか。
7	区の期待する項目※	区が設定する項目に合致した事業であるかどうか。

※区では、申請団体の皆さんが事業を企画・実施する際に、特に重視していただきたい項目を設定しています。申請された事業の中で当該項目に合致する事業に関しては、加点を行います。令和４年度は、「人と人とのつながりを生み、地域の継続的な発展に寄与する事業」になります。

（＊１）ＳＤＧｓ（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、２０１５年に国連サミットで採択された「持続可能でよりよい社会の実現」を目指す国際目標です。

■　本日の審査員

墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会委員

区　分	氏　名	備　　考
学識経験者 （３名以内）	松本　潔	自由が丘産能短期大学能率科教授
	永澤　映	ＮＰＯ法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事
	髙橋　幸子	目白大学看護学部看護学科教授
公募を含む 区民 （５名以内）	田口　武司	墨田区青少年育成委員会連絡協議会会長
	森下　香洋子	すみだ環境共創区民会議委員
	横井　貴広	墨田区男女共同参画推進委員 墨田区環境審議会委員
	長　加誉	公募委員
	横瀬　勝美	公募委員
事業者 （２名以内）	丹澤　龍一	アサヒプロマネジメント株式会社 総務業務部　シニアマネージャー
	久米　信行	久米繊維工業株式会社取締役相談役 iU 情報経営イノベーション専門職大学 教授

（敬称略）

■　令和４年度「すみだの力応援助成事業」申請団体の事業一覧

◆ステップアップ応援コース

○助成金額：10 万円～50 万円　　○審査方法：書類審査、公開プレゼンテーション

	【団体名】事業名	申請額
1	**【すみだ新製品開発プロジェクト】** 災害時には地域支援ができる移動図書館リヤカー事業	302,000 円
	昨年度製作した災害対応のリヤカー型移動図書館「北斎丸」を使い、月に 1 回程度移動図書館を開催。墨田区内で行われるイベントへの参加。大きなイベントの際は紙芝居の読み聞かせも実施。 リヤカーに遊び道具も積んで図書館だけではなく遊び場として利用してもらう。またこのリヤカーは災害時に電源の供給など小さな支援ができるというフェーズフリーな仕様となっていることを説明し防災意識を高めてもらう。	

2	【一般社団法人 SSK】 すみだスーパーキッズキャンプ	500,000円
	（1）キャンプの実施 山梨県の道志村で以下の通り２泊３日のキャンプを行う。 ・食事の調理をはじめ、生活のすべてを仲間と協力し、自分たちの力で組み立てる。 ・川遊びやナイトハイク、星座観察などで道志村の自然を満喫する。 ・体験学習の手法を用いて、体験したことをしっかりと学びにする。 （2）スタッフ研修 野外活動に関する技術・知識を習得するためスタッフ研修を実施する。なおスタッフ研修は、墨田区内で体験活動に関心のある方も参加できるように、一般受講もできる形で実施する。	
3	【特定非営利活動法人すみだ多文化共生交流会】 暮らしでつながる多文化交流	494,000円
	①外国人の相談窓口「街角相談室」を開設することを目的に講座を開催し、協力者の育成を行う。「街角相談室」では、外国人の悩み、困難をヒアリングして、行政や専門職につなぐ役割りを行う ②「すみだ多文化交流フェスタ」の開催。他区では、共生社会を目的に「多文化交流フェスタ」を開催しているところが多く、墨田区でも、大人から子供まで自然と外国人と交流することを目的に、世界の文化を学ぶこと、ワークショップなどを通じての交流、外国人には日本の文化を親しんでもらうことを目的に開催。	

◆スタート応援コース

○助成金額：3 万円～10 万円　　○審査方法：書類審査

	【団体名】事業名	申請額
1	【すみだ未来枠】 すみっこ探検隊！～京島編～	100,000 円
	墨田区に在住、在学の小学校低学年及び保護者を対象に、墨田区京島地区（主に京島三丁目）にて謎解き形式のフィールドワークをおこなう親子参加型のイベントを開催する。 イベント当日は、来場した参加者から随時謎解きに参加してもらう。第四吾嬬小学校にて受付を済ませた後、謎解きスポットが書かれた地図を配布し、90～120 分程度かけて自由にポイント地点を巡る。各ポイントは、体験コーナーになっており、地域に関する様々なことが学習できる。	

※事業内容の概要は、各団体の事業実施計画書の記述のまま掲載しています。

令和4年度

すみだの力応援助成事業

公開プレゼンテーション

発行

墨田区

令和4年6月